

令和7年度 年間指導計画【第1学年 美術科】 担当者 小林明博

標準授業時数 45時間

各学年の内容項目 A表現(1) 発想や構想 ア絵や彫刻など イデザインや工芸など (2) 技能
B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項]

使用教科書 光村図書 1年

時期 (時数)	題材名 【主な指導要領の位置づけ】	題材の目標	題材の評価規準
4月 (1)	「図工から美術へ」 美術科オリエンテーション	図工の学習を振り返り、美術の学習に関心をもつ。	
4月 (2)	「おえかき自己紹介」 (その人らしさを捉える) 【A表現(1)ア(2)】	知自分のもつ雰囲気や、表情やしぐさなどから捉え、材料や用具を工夫して表す。 主自分を表す活動に楽しく取り組む。	知自分の表したい雰囲気や感情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して表している。 主美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
5月 ～ 6月 (12)	「いろ・いろ・色」 「グラデでアート」 (響き合う形と色) 【A表現(1)ア(2)】	知作品のよさや表現の工夫を形や色彩などから捉え、材料や用具を工夫して表す。 思色や形の印象をもとに主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。 主色や形の印象を基に絵に表す活動に楽しく取り組む。	知形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、絵に表した作品を全体のイメージで捉えることを理解している。 自分の気持ちや印象に合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して表している。 思色や形の印象などをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、印象などを基に形や色彩で表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
6月 (1)	「オリパラと美術1」 【B鑑賞(1)】	思社会における美術の役割について考え、見方や感じ方を広げる。 主オリパラにおける美術の役割について考えて鑑賞する活動に楽しく取り組む。	思社会における美術の役割を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、オリパラにおける美術の役割について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7月 (1)	「あ、こんなところに ○○が！」 (写真を撮ることの楽しさ) 【A表現(1)ア(2)】	知写真の効果を形や色彩、光、構図などから捉え、表現に生かす。 思写真の効果を生かして表したいことから主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。 主自分の見方や感じ方を大切にして、写真で表したり、作品を鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。	知形や色彩、光、構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、写真の効果を生かして表した作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 写真の効果を生かし、意図に応じて工夫して表している。 思写真による表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく写真の効果を生かして作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
7月 ～ 10月 (10)	「彫刻動物園」 (材料に命を吹き込む) 【A表現(1)ア(2)】	知身の回りのものの形や色彩、質感などを捉え、特徴を生かして工夫して表す。 思身の回りのものから感じ取ったことや考えたことをもとに主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。 主材料の特徴を捉えて作品に表す活動に楽しく取り組む。	知身の回りのものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、材料を組み合わせることのよさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解している。 身の回りにある自然物や日用品の特徴を生かし、それらを材料にして意図に応じて工夫して表している。 思身の回りにある自然物や日用品の形や色彩、性質、質感などの特徴をもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく材料の特徴を生かし、それらを組み合わせて表す表現の学習活動に取り組もうとしている。

9月 (2)	「オリパラと美術2」 【B鑑賞(1)】	思 社会における美術の役割について考え、見方や感じ方を広げる。 主 オリパラにおける美術の役割について考えて鑑賞する活動に楽しく取り組む。	思 ピクトグラムなど、情報をわかりやすく伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、情報をわかりやすく伝えるための工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にピクトグラムなどの調和のとれた美しさなどを感じ取り、情報をわかりやすく伝えるための工夫を考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
11月 ～ 12月 (4)	「文字で楽しく 伝える」 【A表現(1)イ(2)】 【B鑑賞(1)】	知 目的に応じてデザインされた文字の特徴を、形や色彩、構成などに着目して捉える。 思 生活の中にある文字の工夫を考えて、デザインの役割や働きについて見方を広げる。 主 自分の見方や感じ方を大切にして、文字のデザインを鑑賞する活動に楽しく取り組む。	知 文字のデザインの形や色彩、構成などが見る人に与える効果を理解している。 意 図に応じて、材料や用具を工夫し、制作の順序を考え、見通しをもって表している。 思 デザインされた文字から、伝達の効果や美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫、生活の中のデザインの役割や働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
11月 (1)	「風神雷神図屏風を 鑑賞しよう」 【B鑑賞(1)】	思 作者の表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を広げる。 主 作品の特徴や表現の工夫を考えて鑑賞する活動に楽しく取り組む。	思 風神雷神をテーマにした諸作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、それぞれの作品の共通点や違い、屏風の特性について考えるなどして、日本の美術文化についての見方や感じ方を広げている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本の美術文化を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。
12月 ～ 3月 (10)	「部活ポスター」 (気持ちを伝えるデザイン) 【A表現(1)イ(2)】	知 形や色彩が受け取る人に与える効果を理解し、材料や用具を工夫して表す。 思 伝える相手や伝えたい気持ちを考えることで主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。 主 自分の考えや見方を大切にして、デザインの構想を練ったりする活動に楽しく取り組む。	知 形や色彩、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具を生かして、機能に応じて、制作の順序を考え、見通しをもって表している。 思 伝える相手や、伝えたい気持ちをもとに主題を生み出し、伝えたい内容を形に表す工夫と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるためのデザインをする表現の学習活動に取り組もうとしている。
2月 (1)	「エッシャーの世界」 (暮らしを彩る文様) 【B鑑賞(1)】	思 作者の表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を広げる。 主 自分の考えや見方を大切にして、鑑賞する活動に楽しく取り組む。	思 作品のユニークさなど造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫や文様に込められた願いについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、作品の工夫を考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

令和7年度 年間指導計画【第2学年 美術科】 担当者 小林明博

標準授業時数 35時間

各学年の内容項目 A表現(1) 発想や構想 ア絵や彫刻など イデザインや工芸など (2) 技能
B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項]

使用教科書 光村図書 2・3年

時期 (時数)	題材名 【主な指導要領の位置づけ】	題材の目標	題材の評価規準
4月 ～ 7月 (10)	「カッターで キッターラ」 (空想の世界へようこそ) 【A表現(1)ア(2)】 【B鑑賞(1)】	知 空想の世界の表現を、形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。 思 想像したことから主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、空想の世界を表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	知 形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、絵や彫刻に表された空想の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。 自 分の表したい空想の世界に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 思 現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、想像を膨らませ、空想の世界を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
6月 (2)	「絵巻物の世界」 (日本の絵画を楽しむ五つのキーワード) (漫画表現を楽しむ) 【B鑑賞(1)】	思 日本の美術に独特の自然観や美意識、ユーモアなどを捉えることで、日本の美術文化への見方や感じ方を深める。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	思 日本の絵画のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫、日本の美術の自然観や美意識、ユーモアなどを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の絵画や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7月 (2)	「遠近法について 学ぼう」 (心の中の風景を表す) 【A表現(2)】	知 風景を形や色彩、光などから捉え、意図に応じて工夫して表す。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、風景を表す活動に主体的に取り組む。	知 形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、風景を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 自 分の表したいことに合った材料や用具を選択し、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表している。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に風景を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
9月 ～ 10月 (7)	「目指せ！ 和菓子職人」 (季節感のある暮らし) 【A表現(1)イ(2)】 【B鑑賞(1)】	知 形や色彩、材料などが人々や使う人の感情に与える効果を理解し、意図に応じて見通しをもって表す。 思 季節感や、四季の風物から考えたことをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。 主 自分の考えや見方を深めながら、季節感を取り入れた作品の構想を練ったり、鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	知 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、表された季節感を全体のイメージで捉えることを理解している。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。 思 構成や装飾の目的や条件などをもとに、四季折々の動植物や天候などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に四季折々の動植物や天候などをもとに発想し、デザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
11月 (1)	「風神雷神図屏風を 鑑賞しよう」 【B鑑賞(1)】	思 作者の表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深める。 主 作品の特徴や表現の工夫を考えて鑑賞する活動に楽しく取り組む。	思 風神雷神をテーマにした諸作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、それぞれの作品の共通点や違い、屏風の特性について考えるなどして、日本の美術文化についての見方や感じ方を深めている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本の美術文化を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

11月 ～ 12月 (5)	「みんなのための デザイン」 【A表現(1)イ(2)】 【B鑑賞(1)】	知 形や色彩、材料などに着目して、ユニバーサルデザインの特徴や役割を捉える。 思 使う人の立場に立って考え、デザインの役割や働きについて見方や感じ方を深める。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、ユニバーサルデザインを鑑賞する活動に主体的に取り組む。	知 形や色彩、材料などが使う人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、多くの人にとっての使いやすさや安全性が考えられたデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 思 多くの人にとっての使いやすさや安全性が考えられたデザインの工夫や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、デザインの役割や働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にユニバーサルデザインの目的や機能との調和のとれた美しさを感じ取り、デザインの役割や働きを考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1月 ～ 3月 (7)	「My color & My shape」 (形や色の挑戦) 【A表現(1)ア(2)】	知 作品のよさを形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す 思 自分の感情や思いなどをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、感情や思いなどを表したりする活動に主体的に取り組む。	知 形や色彩などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 思 自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
2月 (1)	「HOKUSAI」 (日本の絵画を楽しむ五つのキーワード) 【B鑑賞(1)】	思 日本の美術に独特の自然観や美意識、ユーモアなどを捉えることで、日本の美術文化への見方や感じ方を深める。 主 自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	思 日本の絵画のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫、日本の美術の自然観や美意識、ユーモアなどを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。 主 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の絵画や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

令和7年度 年間指導計画【第3学年 美術科】 担当者 小林明博

標準授業時数 35時間

各学年の内容項目 A表現(1) 発想や構想 ア絵や彫刻など イデザインや工芸など (2) 技能
B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項]

使用教科書 開隆堂 2・3年

時期 (時数)	主な題材名 【主な指導要領の位置づけ】	題材の目標	題材の評価規準
4月～ 6月 (9)	「15歳の私」 (自分と向き合う) 【A表現(1)ア(2)】 【B鑑賞(1)】	知色彩や材料などの性質を理解し、自分らしさを表す方法を工夫しよう。 思自分自身と向き合うことから表現の構想を練ろう。 主自分らしさを表すことに関心をもち、主体的に取り組もう。	知形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに自分らしさや生命感などを全体のイメージでとらえることを理解している。 描画材料の特性を生かし、意図に応じて自分の描き方を追求して表している。 思自分自身の表情や姿から感じ取ったことや考えたことなどから主題を生み出し、単純化や強調など全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、自分自身から感じ取ったことや自分自身について考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
6月 (1)	「美術がつなぐ 世界と日本」 (浮世絵、庶民の楽しみ) 【B鑑賞(1)】	思西洋美術との関係をもとに日本美術の特徴について考え、見方や感じ方を深めよう。 主身近な造形表現の中にある日本的な特徴に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	思日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
7月 (3)	「未来の私」 【A表現(1)イ(2)】 【B鑑賞(1)】	知形や色彩などの性質を理解し、服装等の形や装飾を工夫しよう。 思機能的で美しい服装等のデザインを考えよう。 主服装等のデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	知形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 思使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機能やユーモアなどから主題を生み出し、服装等の機能と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
9月～ 10月 (7)	「オノマトペアート」 (形を研ぎ澄ませて) 【A表現(1)ア(2)】	知材料の性質を理解し、抽象的な形を表す方法を工夫しよう。 思形や色彩を単純化、抽象化しながら表現の構想を練ろう。 主抽象的な彫刻に関心をもち、主体的に取り組もう。	知形や色彩、材料の質感やまわりの空間などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などを全体のイメージでとらえることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表している。 思対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、省略や強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。
11月 (2)	「美術で世界と 向き合う」 (ゴッホと自画繒) (ルネサンス人間の発見) (ゲルニカで伝えたかったこと) 【B鑑賞(1)】	思それぞれの作品の造形的な特徴を捉え、それぞれの作家が作品を通して伝えたかったことは何か話し合ってみよう 主世界に働きかける美術について関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	思表現の特質などからそれぞれの作家の作品がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

11月 ～ 12月 (5)	「年賀状2026」 【A表現(1)イ(2)】	知ユニークな表現効果を理解し、視線を引きつける表現方法を工夫しよう。 思伝えたい内容や目的をもとに、驚きやユーモアのある作品を考えよう。 主驚きやユーモアのある作品の制作を楽しみ、主体的に表現しよう。	知形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、構成の美しさなどの造形的な特徴などをもとに、錯視の効果と美しさとの調和などを全体のイメージでとらえることを理解している。 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 思目的や条件などをもとに、伝える相手や社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさや面白さとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1月 ～ 3月 (7)	「15歳の宝物」 【A表現(1)アイ(2)】	知色彩や材料などの性質を理解し、自分が好きな世界を表す方法を工夫しよう。 思想像を広げ、思い描いた世界を表現する作品の構想を練ろう。 主夢や想像の世界を表現することに関心を持ち、主体的に取り組もう。	知材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現の仕方を追求して表している。 思自分が好きなことなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考えながら材料や用具の特徴を生かし心豊かに表現する構想を練っている。 主美術の創造活動の喜びを味わい、自分が好きなことなどから感じ取ったことや考えたことなどをもとに材料や用具の特徴を生かした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
3月 (1)	「9年間の 図工・美術」	9年間の図工・美術を振り返り、美術を今後の生活につなげようとする。	